

**nissin** shoji

every day is a new day.

## 中間報告書 80期

2023.4.1 — 2023.9.30

- P01: 株主の皆様へ
- P02: 財務ハイライト(連結)
- P03: 営業の概況
- P04: トピックス
- P05: サステナビリティへの取組み
- P06: 会社概要



代表取締役社長 筒井 博昭

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第80期上半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

### ▶ わが国の経済状況

当上半期におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、個人消費や企業の設備投資に持ち直しがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。景気の先行きについては、サービス業を中心に緩やかな回復が見込まれる一方、欧米の金融引き締めに伴う金融資本市場の金利上昇や、中国経済の下振れリスク、円安の進行等による原材料価格の高騰等により、不透明な状況が続いております。

### ▶ 石油製品販売業界の状況

原油価格は、7月の80ドル台前半から、サウジアラビアの自主減産体制やウクライナ情勢の悪化の影響により9月にかけて90ドル台へ上昇しました。国内石油製品価格は原油価格の上昇と燃料油価格激変緩和措置の補助率の引き下げにより上昇基調で推移し、これを受け9月上旬より燃料油価格激変緩和措置の新制度が発動しております。国内石油製品需要は、円安の進行や燃料油価格の高騰による買い控えの影響等により前年を下回りました。

### ▶ 業績について

当上半期の当社グループ業績は、主に石油関連事業全体で、燃料油における円安の影響に伴う販売価格の上昇等により、売上高は19,625百万円となりました。また、石油関連事業において前年同期と比べてマージンが圧縮されたことや、連結子会社の事業停止の影響等により、営業利益は296百万円、経常利益は479百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、309百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



売上高

19,625 百万円 (対前年同期比 0.9%増)

経常利益

479 百万円 (対前年同期比25.1%減)

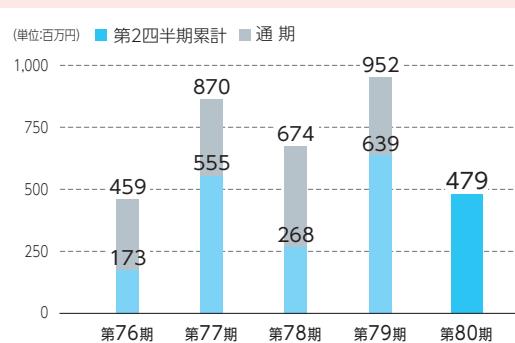
親会社株主に帰属する  
四半期純利益

309 百万円 (対前年同期比 0.1%減)

売上高

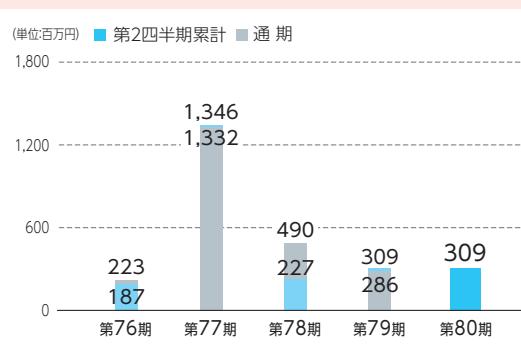


経常利益

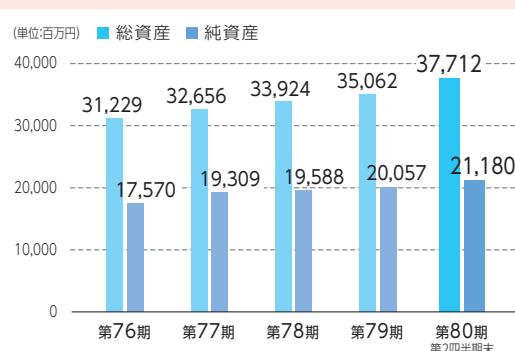


(注)第78期から「収益認識に関する会計基準」等が適用になっております。

親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



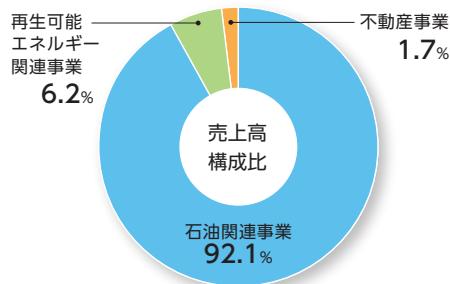
総資産 / 純資産





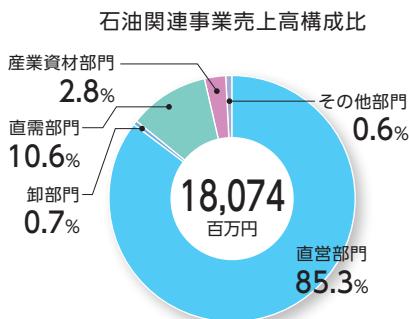
## 営業の概況

当上半期の当社グループ業績は、主に石油関連事業全体で、燃料油における円安の影響に伴う販売価格の上昇等により、売上高は19,625百万円、前年同期比0.9%の増収となりました。また、石油関連事業において前年同期と比べてマージンが圧縮されたことや、連結子会社の事業停止の影響等により、営業利益は296百万円、前年同期比38.0%の減益、経常利益は479百万円、前年同期比25.1%の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、309百万円、前年同期比0.1%の減益となりました。



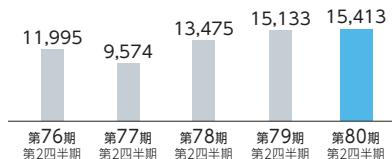
## 石油関連事業

石油関連事業全体につきましては、燃料油における円安の影響に伴う販売価格の上昇や、潤滑油における需要回復の影響等により増収となりました。



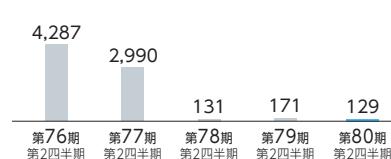
燃料油における円安の影響に伴う販売価格の上昇等により、前年同期比1.8%増収。

売上高 (単位:百万円)



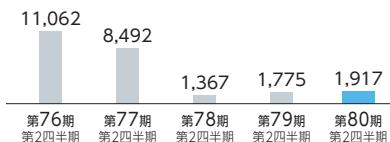
一部販売店SSの閉鎖に伴う販売数量の減少等により、前年同期比24.3%の減収。

売上高 (単位:百万円)



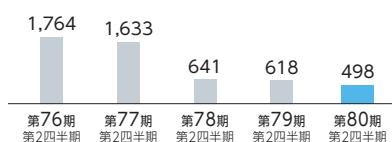
潤滑油における需要回復の影響等により、前年同期比8.0%増収。

売上高 (単位:百万円)



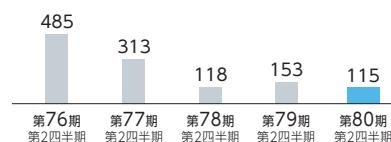
コロナ禍後の回復の反動減等による合成樹脂原料及び製品の販売数量減少や、農業資材全般の価格高騰による購買意欲減退の影響等により、前年同期比19.4%減収。

売上高 (単位:百万円)



CP価格(Contract Price:サウジアラビアの国営石油会社が定めるLPGの輸出基準価格)の下落に伴う販売価格の低下や、一部法人顧客における販売数量の減少等により、前年同期比24.7%減収。

売上高 (単位:百万円)



## 再生可能エネルギー関連事業



売上高

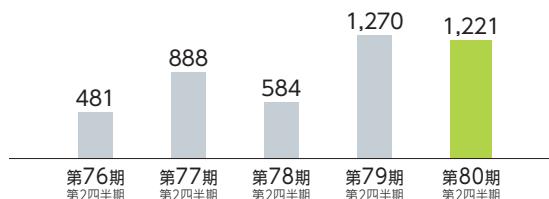
# 1,221

 百万円
 

バイオマス発電燃料であるPKS(Palm Kernel Shell:パーム椰子殻)の販売が回復したものの、太陽光発電関連機器の販売が減少したこと等により、前年同期比3.8%減収。

売上高

(単位:百万円)



## 不動産事業



売上高

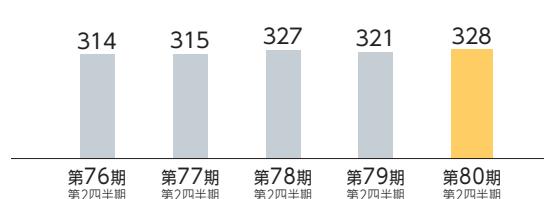
# 328

 百万円
 

「EDIAN(エディアン)」シリーズをはじめとする賃貸マンションの稼働が堅調に推移し、前年同期比2.0%増収。

売上高

(単位:百万円)



## TOPICS

# キーパーコーティング技術社内コンテスト 初の全国大会を開催

2023年9月から10月にかけて、当社SSの運営力向上を目的とし、キーパーコーティング施工技術を競う社内コンテストを開催いたしました。このコンテストは当社初の全国大会として実施され、東京、横浜、大阪、名古屋の各拠点で行った予選大会の上位3名と、キーパー全国コンテスト県大会の出場経験者を加えた19名が出場いたしました。塗り漏れや拭き残しがなくコーティングの施工ができているか、作業内容を正しく理解できているかなどが審査項目となっており、外部のコーティング専任者による採点が順位が決められました。

当社では、今後も従業員のスキルアップや技術向上に努めてまいります。





私たちは、「関わるすべての人の心に寄り添い、ともに笑顔になる未来を目指す」という企業理念のもと、エネルギーが持つ“ものを動かす力”を通じ、人々の暮らしに豊かさを届けることで、よりよい未来を創造することを目指して事業に取り組んでいます。企業が果たすべき、ESG(環境・社会・ガバナンス)課題への責任を当社の事業活動と一体化させることで、事業を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現へ貢献するとともに、持続的な企業価値向上を追求していきます。



### コミュニティとの繋がりの深化

2022年10月1日から運用を開始した堺市シェアサイクル事業(OpenStreet株式会社と業務提携)において、今後の更なる需要拡大を見据えて、シェアサイクルを200台増車、順次設置しています。当社が設置した自転車の稼働実績は、好調に推移しています。引き続き、地域住民の利便性向上と事業の収益拡大を推進してまいります。



### 未来をつくる「ひと」への投資促進

人的資本への投資として、基礎スキル向上研修を実施しました。また、資格取得支援制度の利便性を高め、自発的な学びを促す環境を整備しました。2023年度下期には若手研修やリーダー研修を実施予定であり、当社を牽引する人材の育成を強化しています。

働きやすい職場づくりや健康増進の分野では、継続的かつ定期的なコンプライアンス研修の実施と、人間ドック・脳ドック検診の費用補助制度の新設を行いました。社員が安心できる職場を整備するとともに、健康的な生活を支援することで、社員が十分に力を発揮できる環境を整えています。





## ● 会社概要

商号 日新商事株式会社 (NISSIN SHOJI CO., LTD.)  
 設立 1950年2月1日 (創業 1947年8月7日)  
 資本金 36億2,400万円  
 本社所在地 〒105-0023  
 東京都港区芝浦一丁目12番3号 (Daiwa芝浦ビル4階)  
 TEL.03-3457-6251  
 従業員数 358名

## ● 主要事業

- 一般石油製品及び副製品の販売
- 石油化学製品及びその合成樹脂製品の販売
- 液化石油ガスの製造、販売、並びにその附属品の販売
- 自動車部品及びタイヤ類の販売
- 自動車・中古自動車の修理・整備、販売業
- プラスチックの成形機械類並びにその附属品の販売
- 損害保険代理業並びに自動車損害賠償保障法に基づく保険代理業
- 飲食店業
- 不動産賃貸業
- 電解還元水整水器、カートリッジ及び電解還元水の販売
- 自動車及び自動車用品の賃貸業
- 食料品、日用雑貨品及びその他生活用品の販売並びに飲料(清涼飲料水)の製造、販売
- 超高輝度マイクロプリズム反射素材の販売
- 電気通信事業法による通信機器販売及び電気通信サービスの加入手続きに関する代理店業務
- 電化製品及び環境対応商品等の販売
- 発電及び売電に関する事業
- 農業用資材の製造、販売

## ● 役員

代表取締役社長	筒井博昭	社外取締役監査等委員	津國伸郎
社長執行役員	柴崎正典	社外取締役監査等委員	山口光
取締役常務執行役員	伊藤真	執行役員	佐野浩一
取締役執行役員	入龍弥	執行役員	丸山健司
取締役常勤監査等委員	走尾一隆	執行役員	吉田健

## 事業内容

石油関連事業を軸にあらゆるエネルギーの供給を社会的使命と捉え、様々なビジネス領域においてサービスを展開しています。

### > 石油関連事業



#### 直営部門

「ENEOS」ブランドのSSを展開



#### 卸部門

石油製品販売店への卸販売、販売促進の支援



#### 直需部門

基幹産業、物流分野へ石油製品販売



#### 産業資材部門

石油化学製品を中心に多様な製品の販売



#### その他部門

液化石油ガスの販売



### > 再生可能エネルギー関連事業



再生可能エネルギー関連の原料・機器販売及び太陽光発電による売電事業等



### > 不動産事業



オフィスビル、マンション等の賃貸事業





## 株式の状況 (2023年9月30日現在)

### ● 株式の状況

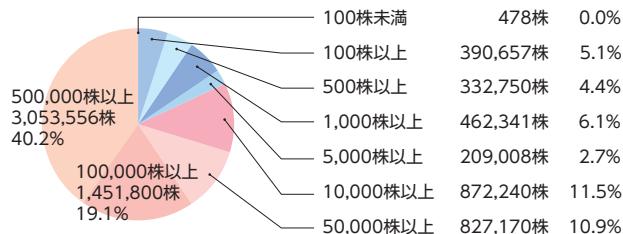
発行可能株式総数……………30,400,000株  
 発行済株式の総数……………7,600,000株  
 株主数……………2,833名  
(前期末比115名減)

### ● 大株主

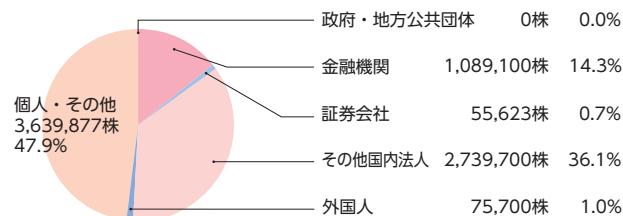
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ENEOSホールディングス株式会社	1,140,000	17.1
株式会社日新	990,000	14.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	349,000	5.2
株式会社三井住友銀行	250,000	3.7
筒井 博昭	219,300	3.3
筒井 健司	192,800	2.9
筒井 敦子	117,600	1.8
ユシロ化学工業株式会社	115,800	1.7
山本 知宏	107,300	1.6
株式会社三菱UFJ銀行	100,000	1.5

(注) 1. 持株比率は自己株式(923,556株)を控除して計算しております。  
 2. 当社は自己株式923,556株を所有していますが、上記の表には記載しておりません。

### ● 所有数別株式分布状況



### ● 所有者別株式分布状況



(注) 「500,000株以上」及び「個人・その他」株式には自己株式923,556株が含まれております。



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 基準日 定時株主総会 3月31日  
 その他必要のある場合は公告いたします。

期末配当 毎年3月31日  
 中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 (受付時間 土日休日を除く9:00~17:00)

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすく読みまちがえにくい  
 ユニバーサルデザインフォントを  
 採用しています。



nissin shoji

日新商事株式会社

東京都港区芝浦1-12-3 〒105-0023  
 Daiwa 芝浦ビル

Tel. 03-3457-6251 (総務部株式担当)  
 nissin-shoji.co.jp